

浜坂病院 新型コロナウイルス感染症への対応はできません！

感染が疑われる場合は、兵庫県の相談窓口へ
【電話】078-362-9980（24時間受付：専用ダイヤル）

浜坂病院では現在、新型コロナウイルス感染者への治療等の受入れ体制はできていません。また、感染のPCR検査も行っておりません。そのため、感染への防御装備が整っていません。

浜坂病院に課せられた医療機関としての役割上の責務として、通常の通院・入院患者さんを感染から守らなければならないため、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

浜坂病院その他の情報

残念ながら、整形外科の常勤医師が見つかっておらず、外来診療体制も火曜日の午後（鳥取市立病院：森下医師）、金曜日の午前（黒田医師）の体制に変わりはありません。引き続き、常勤医の招へいに努めています。

どうなる？ 巨大風力発電プロジェクト



現在、熊谷地区を中心に計画されてきた風力発電事業は、県の環境基準の見直しにより、約半分が不適合になる見通しですが、計画を進めてからの県の基準変更に対し、事業主側は訴訟も検討されているようです。

今後とも地域としての明確な拒否の姿勢は必要で、予断は許されないと考えています。



湯村温泉/夢ナリエ：演出中

むだばなし

<円形校舎と小学生の頃の思い出>
温泉小学校円形校舎との出会いは、

母に連れられて行った7歳年上の姉の参観日でした。教室の窓から、現在の「旅館ゆあむ」前から細田交差点に続く国道9号線の工事が見えました。たぶん6年生教室だったのでしょ。

温泉幼稚園に入園後は毎日園庭から円形校舎を眺めては、上級学校のお兄さんお姉さんへのあこがれを抱いていた印象が残っています。

温泉小学校に入学して1年1組になり、山本愛子先生に担任をしていただきました。最初の校内見学で、円形校舎のらせん階段を上って行った時の緊張感と新鮮な感動を今でも覚えています。階段を上っている時、屋上の給水タンクから「ゴロゴロ」という音が聞こえ、驚いた私が「タンクが腹痛を起こしとるなあ」と言ったことを山本先生が短い作文にしてくださり、新聞社の賞をいただきました。山本先生は、子どもたちのつぶやきを作文にされることが上手でした。その後も、先生のお陰で私の自力とは言えない作文で賞をいただきました。苦手だった縄跳びができるようになったのも1年生の時でした。

2年2組では山本一之先生に担任をしていただきました。特に勉強嫌だったつもりはないのですが、遊ぶことに忙しかった覚えがあります。成績は悪かったようで、夏休みの補習授業を設定してくださり、全但バスに乗ってご自宅に通わせていただきました。社会人になって帰郷して以降、年賀状の交流だけになっていました。13年前の年賀状に「一度、会って話をしたいです」と記していただいたその春に、お会いできないまま亡くなりました。とても残念な思いで後悔しています。3年1組では安藤恵美子先生に担任をしていただきました。2階の教室に移り、毎日らせん階段を上ることができて嬉しかったことを覚えています。安藤先生は井土にお住まいで、とても親近感を感じていました。給食当番の時に、思わず「お母ちゃん」と呼んでしまったことも今となっては懐かしい思い出です。

4年1組、5年1組、6年1組の3年間は岡田正嗣先生に担任をしていただきました。4年生最初の算数のテストで100点を貰い算数が好きになりました。息子たちには内緒ですが、相変わらず下校後には勉強より遊ぶことに完全燃焼していたようです。とうとう「宿題忘れの名人」の称号を貰い、その題名の作文が「特別の宿題」になったこともありました。毎日のように叱られていましたが、小学校には楽しかった記憶しか残っていません。当時から少々口うるさい性格だったようで、そのことが岡田先生からの卒業に向けてのメッセージに記されています。

(H19 温小 PTA 会報誌への投稿より抜粋編集)

私は大人が仲間と助け合って精一杯、人生を生き抜く姿を見せること、それがふるさと教育の基本ではないかと思っています。



町政報告 2020年春 第10号

とち
柄の実 通信
(ただっちゃん つうしん)



新温泉町議会議員

かわごえ

河越ただし

住民の幸せ追求が町政のつとめ

発行：河越 忠志

〒669-6801 新温泉町井土 978-1

E-mail: take2428co@coffee.ocn.ne.jp

TEL0796-92-2428 FAX92-2206

http://take2428.com/

祝

麒麟獅子舞、国の重要無形民俗文化財指定



新年度会計総予算 183億7千万円

3月議会では予算特別委員会を設置し、令和2年度予算(一般会計・特別会計・公営企業会計)の審査を行いました。さらに、本会議による審議と各会計の補正予算、条例改正、事件案件、人事案件についての審議を行い、全てについて修正されることなく可決されました。

一般会計予算はわずかに増加しましたが、浜坂残土処分場の完成による特別会計予算の2割減により、総予算は昨年度に比べて5.5%減となりました(詳細は『議会だより第58号』をご覧ください)。

平成29年度以降、5年間をかけて段階的に国からの『普通交付税合併特例措置』が縮減されたことと、町人口減少による交付税算定額見直しにより、町の歳入が減少していることが、今回の予算編成減の根底にあります。今の地方交付税算定ルールでは、地方公共団体が自主財源を増やそうと努力し、税収を100万円増やしても、国からの地方交付税交付金が75万円減額されることになっています。

そのため、財政基盤が厳しい地方では、特別交付税の賢い活用が重要だと思います。『過疎債』も大きな役割を果たしてきましたが、根拠となる『過疎地域自立促進特別措置法』が令和2年度で期限切れを迎えます。多くの自治体が国に延長の要請をしており、期待もしていますが、これも都道府県単位で総額が割り振られるため、どのように県とつながり、いかに県にとっても魅力的な事業の計画ができるかが鍵になると考えています。『ふるさと納税制度』についてもこの先いつまで続く制度なのかは不透明ではありますが、地方交付税交付金額への影響がなく、全額を自主財源として活用できる利点があることから、活力あるまちづくりに向けての有効活用策を提案し続けさせていただいていますが、その反応は鈍く、『温泉天国』もその行方は見えてこない現状があります。先を示すことは行政の責任です。

新型コロナに負けるな！

無症状の感染者が、知らず知らず拡散させる可能性が、指摘されています。

一人ひとりの自覚と行動が終息へ向けての鍵を握っています。

政府は国民の命と暮らしを守るための確かな支援を行う責任者であると確信しています。

仲間や家族に会えないのは寂しいけれど、今しばらくのガマンです。「3つの密」を避けて「うがい」、「手洗い」、そして、今度会う時の笑顔を楽しみに苦難を乗り越えましょう！

最後のページに手作りマスクの型紙見本を掲載しましたが、ネットで「手作りマスクの型紙」を検索すると情報が得られます。まず、一人で、できることから、取り組んでみたいと思います。



(LINEメッセージより)

整備検討委員会との協議を望む!

浜坂認定こども園整備方針保留



【新年度事業予算計上なし】

この度の3月議会では、浜坂認定こども園改築に向けての敷地選定を含む計画提案は出されませんでした。理由として、「兵庫県が5月に更新を予定しているハザードマップ(自然災害による被害予想地図)が示された後に、整備検討委員会の答申、住民の要望、議会での意見を総合的に判断して提案したい」との意向が示されました。

現状では整備検討委員会の答申に対して議会が「否」の判断を行っています。また、今年1月に再開された整備検討委員会の議事録の中に「園児の安全については十分に議論してきた」、「この候補地が通らない理由が分からない」との意見が記録されていることから、認識の相違を感じています。町長が判断をされる前に、まずは整備検討委員の方々と私たち反対派議員団との意見交換と相互理解が必要だと思います。(残念ながら、私の一般質問に対する答弁では実現しそうにありません

でした。) どちらが正しいというのではなく、『子どもの安全と保護者の安心』の考え方にも多様性があり、互いの立場を分かりあい、『子どもと保護者の最善の利益』のために歩み寄ることが必要だということです。安全確保についての考え方も人それぞれです。そういった中で、行政としての『安全確保』は、行政の責任と目的の視点から『全員の安全確保の願い』を充足することが求められていると思うのです。



【東側拡張提案反対理由】

大雨洪水警報発令時の『休園』と『避難』が安全確保の前提となっており、乳幼児を預かる施設として『安全性』、『保育の継続・維持』の面から不十分さがある。少子化が進む現状において、大庭認定こども園との統合の可能性の議論とそれに伴う位置検討についての意見集約がなされていない。豪雨時の浸水想定区域内に『乳幼児の命を預かる施設』を設けること自体に反対。この3つが私が認識している議会内の反対理由です。

私は大庭認定こども園存続派ですが、については譲れない思いがあります。

下図が現在のCGハザードマップです。新温泉町のホームページから見る事ができます。この地図にカメラマークが付いており、浜坂認定こども園や加藤文太郎図書館付近が冠水するCG映像が映し出されています。町には命を守るための万全の対応が要求されます。

浜坂地域の認定こども園整備方針(一般質問)

3月議会での認定こども園に関する一般質問では、まず、喫緊の課題である浜坂地域の0歳児保育環境整備を何故、急がないのかと質しましたが、令和2年度では、明星認定こども園の受入れ定員で不足がないことから、特段急ぐ必要がないとの答弁で、子育て支援や就労のための保育環境整備について危機感が伝わってこなかったことを残念に思いました。0歳児、病児・病後児、24時間保育等多様な保育環境整備がお母さん方の活動の選択肢を広げ、維持することにつながり、この町には必要で大切な分野だと思います。

次に浜坂・大庭各認定こども園をどのように整備する予定かを質すため、次のように質問し、答弁を得ました。

【河越】浜坂認定こども園では、どちらが危険度が高いと考えているか?、どちらのこども園が重要と考えているか?

【町長】どちらとは言えない。

【河越】4年早く建築された大庭の方が何故、後回しになるのか?

【町長】浜坂認定こども園は岡本教育長当時の継続案件である。

現在は津波の危険性が払拭されたことを前提に検討がなされており、大庭認定こども園の耐震改修整備を同時に進めるべきであると進言しました。それは1年で事業を完成することができ、0歳児保育環境なども整備できます。耐震改修には令和2年度末まで延長された緊急防災・減災事業債が活用でき、財政負担は小さくできます。

しかし、町長からは「物事には優先順位がある。」との矛盾する答弁もあり、理解が得られませんでした。

浜坂認定こども園の絶対的建替え理由がないことから、「浜坂認定こども園の現在の施設は耐震改修できる建築物であることを前提に、現在の敷地自体に一定の安全性があるのであれば、既存施設を耐震改修し、更に安全な高さで新たな施設を増築し、安全な住宅地に繋ぐ形態での整備はどうか。その案では既に表明されている予算内で大庭の整備もでき、更にお釣りがくる。そんな考えはないか。」と提言し、「一つの案として受けとめる。」との消極的な答弁で締めくくられてしまいました。

田中孝幸副町長勇退

田中孝幸前副町長が年度末付けで勇退され、前町民安全課長の西村徹氏が後任として就任されました。

田中氏には兵庫県の取り計らいによって、西村町長誕生後、約5か月間に亘り不在となっていた副町長の重責を担っていただきました。

在任中には私と意見がぶつかり、議論になることもありましたが、県職員としての豊かなご経験とご見識を活かして、特に財政手法の分野でたくさんのご教示をいただいたと感謝しております。

議会閉会后、本議事を毎回傍聴していただいていたYさんが前副町長に歩み寄り感謝の気持ちを伝えておられました。多難であった職務がねぎらわれたひと時だと感じました。

会期中に報道された不祥事について、「職員を守れなかった」と涙ながらに報告されたことが深く印象に残っています。本町でのご尽力に深く感謝し、県職に戻られてからのご活躍を祈っています。

春来：椿山公園より



ふるさと納税

活動支援枠創設を!

令和1年度のふるさと納税による寄付額は約1億5千万円でした。しかし、返礼品他の諸経費を除くと、自主財源としての金額は約半分です。麒麟獅子舞や北前船寄港地、特定地域活動などへの直接的寄付枠の創設を提案し続けていますが、まだ実現に至っていないことが残念です。

財政力が弱い地域では、まちづくりを行政の力だけで担うことには限界があると感じています。他の市町村には、住民生活に身近な課題を地域住民自らが解決する地域自治組織が活発な自治体もあります。

鳥取県立高校への自由進学制度を!

現在、町内の中学生の半分近くが、町外の高校に進学しています。大学進学を考えて、取り組みたいクラブ活動、自分に合った学習環境など様々な理由があると考えています。そんな中、鳥取県内の県立私立高校の特色の多さに気付かされます。将来への選択肢は多い方が良いのです。

新温泉町から鳥取の県立高校へ、鳥取県内から浜坂高校へ、目的に応じて互いに自由に進学できる制度と支援を常任委員会で教育長に進言しました。その上で、町全体で、未来の力と浜坂高校を精一杯応援し、支えていこうと思います。中途半端では地域と子ども達の未来は守れないと感じています。